

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【小学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

生活習慣等に関する調査

— さいたま市の小学校 第6学年の回答状況とあなたの回答 —

質問項目の内、さいたま市が重視している項目を抜粋して掲載しています。

質問項目	さいたま市の回答状況 (%)	あなたの回答
将来に関する意識		
① 将来の夢や目標を持っている。	%	
学校生活		
② 学校に行くのは楽しい。	%	○
自尊意識		
③ 自分には、よいところがあると思う。	%	
基本的な生活習慣		
④ 朝食を毎日食べている。	%	○
⑤ 毎日、同じくらの時刻に起きている。	%	
⑥ 毎日、同じくらの時刻に寝ている。	%	○
学校生活		
⑦ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。	%	
読書習慣		
⑧ 読書が好き。	%	○
キャリア教育		
⑨ 学ぶことや働くことの意義を考えたり、今、学校で学んだこと、自分の将来とのつながりを考えたりしている。	%	○
地域のかかわり等		
⑩ 地域や社会をよくなるために何かしてみたいと思う。	%	

市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。

調査結果から、自分の生活で見直していこうと思うことを記入して、今後の生活に活かしましょう。

この欄は、調査結果を見て、お子さんが自分の生活で「見直していきたいこと」や「今後も続けていきたいこと」などを記入する欄です。

●保護者様へ●

さいたま市学習状況調査では、お子さんの生活習慣や学習の状況を把握することができます。今後の生活習慣や家庭学習の確立のために、「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」をファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語としてご活用ください。

保護者より

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

学力に関する調査

— さいたま市の平均正答率とあなたの正答率 —

さいたま市の平均正答率とあなたの正答率を比べて、あなたの成果と課題をみつめよう。課題を解決するための取組を工夫しよう。

小学校国語 6年（例）

さいたま市の平均正答率 あなたの正答率 あなたの前回の正答率

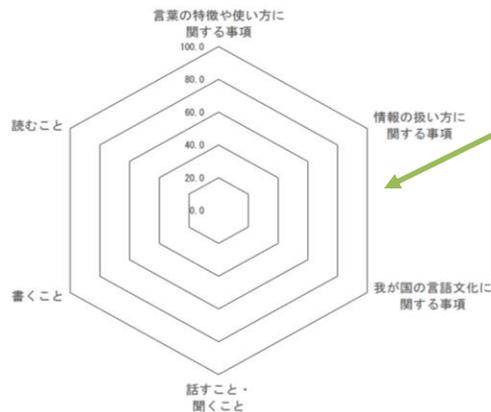
市の平均正答数や平均正答率を示しています。

お子さんの正答数、正答率等を示しています。

分類	区分	対象設問数	さいたま市の平均		あなた			
			正答数	正答率	正答数	正答率	前回の正答率	
全体	国語	18 問	問	%	問	%	%	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使いに関する事項	9 問	問	%	問	%	%
		情報の扱い方に関する事項	0 問	-	-	-	-	-
		我が国の言語文化に関する事項	0 問	-	-	-	-	-
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4 問	問	%	問	%	%
		書くこと	2 問	問	%	問	%	%
	読むこと	3 問	問	%	問	%	%	

内容や領域ごとの正答数、正答率等を示しています。

※「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」からの出題はありませんでした。



お子さんの正答率と市の平均正答率を領域等ごとに示しています。第4学年から第6学年のお子さんは、昨年の自分の正答率も示されています。

「学力に関する調査」の設問ごとの解答状況等を確認することができます。
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、励ますとともに、どこにつまずきがあるのかを一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

国語				
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の区別	正誤	さいたま市の平均正答率 (%)
1 (1) ①	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(例)	言		
1 (1) ②	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(例)	言		
1 (1) ③	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(例)	言		
1 (1) ④	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(例)	言		
1 (1) ⑤	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(例)	言		
1 (2)	文の中の主題と述語の関係を理解することができる。	言		
1 (3)	文の中の主題と述語の関係を理解することができる。	言		
1 (4)	文の中の修飾と被修飾の関係を理解することができる。	言		
1 (5)	相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。	言		
2 (1)	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるのに必要な情報を見つけて読むことができる。	読		
2 (2)	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるのに必要な情報を見つけて読むことができる。	読		
2 (3)	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるのに必要な情報を見つけて読むことができる。	読		
3 (1)	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。	書		
3 (2)	引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	書		
4 (1)	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	話		
4 (2)	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	話		
5 (1)	必要なことを簡潔に分かりやすく、話し手や聞き手にとって自分に関心が高いことの内容を伝えることができる。	話		
5 (2)	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	話		

国語でがんばりたいこと

算数				
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の区別	正誤	さいたま市の平均正答率 (%)
1 (1)	小数の減法の計算をすることができる。	数		
1 (2)	減法と除法の混合した整数の計算をすることができる。	数		
1 (3)	分数、小数、整数の混合した計算をすることができる。	数		
2	1にあたる大きさを求めるために除法が用いられることを理解している。倍数と除の関係を理解している。口	数		
3	除法の性質を用いて、分数の除法を考えることができる。	数		
4	基準量と比較量に着目し、式に合間題を導くことができる。	数		
5	問題の場面を把握し、円の半径から円周を求めることができる。	図		
6	角柱の底面や高さなどを理解し、体積を求めることができる。	図		
7	図形を構成する要素に着目し、作図をしている図形を考えることができる。	図		
8	縮尺を基にして、実際の長さを求めることができる。	図		
9	基準量・比較量・割合の関係を捉え、比較量を求めることができる。	変		
10 (1)	部分を求める場面において、線分図に対応する比の関係を考えることができる。	変		
10 (2)	部分を求める場面において、線分図に対応する比の関係を考えることができる。	変		
11	示された場面により、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。	変		
12 (1)	円グラフに表されている事項を読み取ることができる。	デ		
12 (2)	円グラフに表されている事項を読み取ることができる。	デ		
13	複合グラフから特徴を読み取ることができる。	デ		
14 (1)	データを二次元の表にまとめることができる。	デ		
14 (2)	データを二次元の表にまとめることができる。	デ		
15	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。	数		

算数でがんばりたいこと

社会				
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の区別	正誤	さいたま市の平均正答率 (%)
1 (1)	方位図(北西)を理解している。	地		
1 (2)	郵便局と畑の地図記号を理解している。	地		
1 (3)	土地の高さの違いや地図記号から、市の地形の特色を読み取り、考えることができる。	地		
1 (4)	土地利用の変化に着目して、市の地形の変化を考えることができる。	地		
2 (1)	飲料水が供給される管路を、資料から読み取ることができる。	地		
2 (2)	見沼用水の管路図を読み取ることができる。	地		
3 (1)	大量の情報や情報通信技術がスーパーマーケットで活用されているよさを資料から考えることができる。	現		
3 (2)	情報を有効に活用することについて、情報の受け手と送り手のそれぞれの立場から考えることができる。	現		
4 (1)	国土の自然災害の状況について理解している。	現		
4 (2)	法律がつけられるまでの過程から、国の政治の仕組みを読み取ることができる。	現		
4 (3)	日本国憲法の基本的な考え方と国民生活を関連付けて、憲法の特徴や役割を考えることができる。	現		
5 (1)	年表を手掛かりに、源氏物語絵巻が描かれた時代と、その時代の文化を窺取することができる。	歴		
5 (2)	書院造の部屋や生け花の様子を手掛かりに、室町時代に広まった文化を窺取することができる。	歴		
6 (1)	資料を手掛かりに、8世紀頃の我が国が大陸文化を摂取していたことを読み取ることができる。	歴		
6 (2)	年表を手掛かりに、織田信長や豊臣秀吉が戦国の世を統一した過程を考えることができる。	歴		
6 (3)	思考ツールに整理されている内容を読み取り、具体的な出来事について考えることができる。	歴		
7 (1)	天皇中心の国づくりが目指されたことを資料から読み取り、考えることができる。	歴		
7 (2)	鎌倉幕府によって成された政治の仕組みを理解している。	歴		
7 (3)	資料を見比べてながら、江戸時代の政治の仕組みについて考えることができる。	歴		

社会でがんばりたいこと

理科				
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の区別	正誤	さいたま市の平均正答率 (%)
1 (1)	電気の通り道を「回路」として理解している。	工		
1 (2)	乾電池の直列つなぎについて、正しいつなぎ方とは向きを揃えてつなぐことであることを理解している。	工		
2 (1)	「おもむき」ははよぶ方の1往復する時間との関係を探るための実験装置を考えることができる。	工		
2 (2)	実験結果に基づいて、おもむき1往復する時間のはるの長さによって変わるという結論を導くことができる。	工		
2 (3)	おもむき1往復する時間が変わった要素について、より適切な考えを考えることができる。	工		
3 (1)	食塩を水に溶かしても、全体の量は変わらないことを理解している。	粒		
3 (2)	ろ過の適切な方法について理解している。	粒		
3 (3)	物は、水に溶けると液体全体に広がることを理解している。	粒		
4 (1)	閉じ込めた空気に加えると、体積は小さくなり、おし返す力は大きくなることを理解している。	粒		
4 (2)	空気と水の性質について、既習事項を適用し、実生活の事象を考察することができる。	粒		
5 (1)	植物の種子の中には、でんぷんがあることを理解している。	生		
5 (2)	植物の種子の発芽条件を調べるための実験方法について構想している。	生		
5 (3)	植物の葉に日光が当たると、でんぷんができることを調べる実験方法について構想している。	生		
6 (1)	食べ物の量は主として小腸から吸収されることを理解している。	生		
6 (2)	食べ物が消化されたり、体に取り込まれることで変化した状態について理解している。	生		
7 (1)	実験結果に基づいて、流れの速さの大きな変化を考えることができる。	地		
7 (2)	火山の働きでできた岩の特徴を理解している。	地		
7 (3)	大地のずれを「断層」として理解している。	地		
8 (1)	方位磁針は、文字盤の「北」の色のついた針に合わせて使うことを理解している。	地		
8 (2)	天気は雲の動きと関係があり、雲の量は雲から東へ動くことから、天気を予想することができる。	地		

理科でがんばりたいこと

この欄は、調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。